

クローズアップ インタビュー

平成24年度秋の褒章が発表され、沢渡町五丁目在住の神谷新恵さんが藍綬褒章を受章されました。

神谷さんは20年間にわたり、高浜市明るい選挙推進協議会の委員として、若年層への啓発活動や街頭での投票の呼びかけなど、投票率の向上を目指し尽力されています。

受章の喜びや委員の仕事などについて伺いました。



藍綬褒章受章者

かみ や あら え
神谷新恵氏(71歳)

主な経歴

平成4年4月～	高浜市明るい選挙推進協議会委員
平成10年4月～	高浜市明るい選挙推進協議会会長
平成12年4月 ～平成14年3月	高浜市赤十字奉仕団委員長
平成15年10月	愛知県選挙管理委員会表彰
平成17年4月 ～平成19年3月	高浜市公平委員会委員長
平成18年3月	総務大臣表彰 (第44回来議院議員総選挙)

受章の感想

元々は先輩から頼まれて始め、これまで続けてきましたので、私がいちいち良いものかと驚きました。家族も実感が湧いていないようでしたが、新聞などに私の名前が掲載されるのを見て、少しずつ実感が出てきたようです。ここまで続けてくるのができたのも、家族の協力があったからこそと感謝しています。

委員の仕事について

●きっかけ

はじめは投票所の立会人を頼まれ、選挙に関わるようになりまし。そこに市役所から声がかかり、お役に立てるのなら、と委員

の仕事を引き受けたのがきっかけです。

●苦労

年々投票率が下がり、委員の間でもどうしたら上がるのかと相談していました。

そこで、朝の通勤時間に合わせて駅前立ち、法被を着てティッシュなどの啓発グッズを配布する啓発活動を始めました。そうして立っているだけでも、それを見かけた人たちに「もうすぐ選挙なんだな」と意識してもらおうことができ、投票率の向上に効果があると考えています。

●喜び

何年も投票所にいると、投票に来る方の顔を覚えることができ、きますので、「今年もこの方が一番に来てくださった」など、地域に住んでいる方の元気な姿を拝見できることを嬉しく思います。

また、子どもたちと一緒に投票へ来てくれることがあります。とても良いことだと思います。選挙に参加している親の姿を見て、きっとその子どもたちも、将来選挙に関心を持ってくれるのではないかと期待しています。

これからの生活

たくさんさんの趣味がありますが、特に、6年続けているフラダンス

は色々なイベントに参加したり、高齢者の施設を慰問したりと幅広く活動しています。慰問の際は、レイをたくさん持っていき、利用者の方にかけてあげています。そうすると、皆さんも立ち上がり、一緒に踊ってくれたり、車椅子の方も手を動かして楽しんでくださり、そうした姿に元気をもらっています。

また、所属している婦人会で、結婚式や七五三、式典などで着用できる衣裳のレンタルを行っており、そこでは特技を活かして利用者の方の着付けを行っています。ぜひ、多くの方に利用していただきたいと思っています。

若い人へ

今の政治を見ると、自分の一票が本当に影響するのかわからない、思ってしまうかもしれません。ですが、その一票から始まりま

す。今から日本を背負っていく皆さんにとって、選挙への参加は義務であり、権利です。そして、それは無駄なことではなく、かならず反映されていきます。ぜひ、「自分も政治に参加する」という気持ちで、投票場へ足を運んでください。